

## 4 「敦賀気比」校名揮ごうの輝き

14

敦賀気比高全国制覇に喜びひとしお

先の選抜高校野球大会で全国制覇を成し遂げた、敦賀気比高の選手のユニフォームに刻まれた「敦賀気比」の文字を揮ごうした、山田勲さん(住吉町2丁目)が牧野市長を表敬しました。揮ごうは、1992～98年に監督を務めた、幼なじみの故・渡辺孝一さん(桜町1丁目)の依頼で書かれたそうで、ユニフォームへの文字入れにかかる話やこの度の選抜大会で木板に朱色で書いた「必勝」の文字を掲げての応援の様子など、優勝の喜びとともに感慨深く語りました。



牧野市長に敦賀気比高優勝の喜びを語る山田勲さん



設立総会で意気込みを語る岸本会長

## 4 「防災士ネットワークさばえ」設立

19

市の防災士67名が集結!

市の防災士による「防災士ネットワークさばえ」が誕生し、この日設立総会が開催されました。災害はいつ、どこで、どのような形で起こるか分かりません。ネットワークさばえは、このような災害に対し、地域に即した自助・共助の仕組みを展開し、市民の防災意識向上につなげていくことを目指しています。今後、地域防災の担い手として、防災・減災の知識や技能を磨き、子どもや高齢者を対象とした防災出前講座や啓発活動を重点に行い、「防育(防災教育事業)」を推進していきます。

## 4 長寿アイドル、軽やかにダンス!!

20

「SBE80!」デビュー5周年記念公演開催

平成22年4月のデビューから早5年。この日、アイアイ鯖江を会場に健康長寿アイドル「SBE80!」のデビュー5周年記念公演が開催されました。現在平均年齢83歳、年に1つは新作のダンスを習得するほどパワフルな皆さんは、この日も全6曲を披露。姉妹グループ「本町小町」も踊りを披露し5周年に花を添えました。「お祭りマンボ」などの曲が流れると観客の皆さんも一緒に体を動かして公演を楽しみました。最後に、リーダーの宮下美智子さん(東鯖江4丁目)が「100歳まで頑張りたい」と今後の目標を語り公演を締めくくりました。



軽やかにダンスを披露する「SBE80!」と「本町小町」の皆さん



砂村さん家族とともに笑顔の記念写真

## 5 道の駅「西山公園」祝60万人突破!

1

市制60周年の節目に達成

オープンから1年1カ月のこの日、節目の60万人目となったのは神奈川県平塚市の砂村克之さんら家族4人。砂村さんは「帰省時には子どもが喜ぶので西山公園によく来る。花もきれいですね。60万人と聞いてびっくりした」と話していました。セレモニーで牧野市長は、「市制60周年の節目と合わせ早くも60万人を達成でき、ますます市が発展する契機としたい」とあいさつ。牧野市長らから花束や記念品が贈られたほか、くす玉を割って節目を祝いました。

# ゴールデンウィークは おまつりWEEK

今年の目玉の一つは仮装をして文殊山を登る「コスプレ登山」。ゲームのキャラクターなどに扮した参加者は、足取り軽く頂上を目指し、新緑の中登山を楽しみました。また、田んぼではソフトバレー大会やそり引き競争、魚の掴み取りなどが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

## 5/3・5/4 目当ての漆器をお得にGET 河和田越前漆器まつり



①夢中でお椀を運ぶ子どもたち  
②豪華絢爛な山車を引く様子

豪華絢爛な4台の山車が連なり、会場のうるしの里会館に入ったのと同様にまつりがスタート。今年は「さばえものづくり商品券」が会場で販売されていたこともあり、お得に購入できる漆器などを買い求めて大勢のお客さんでにぎわいました。そのほかにもカラーガードの演技や吹奏楽の演奏、お椀運び競争などが行われ、会場にいるお客さんを楽しませました。

## 5/3～5/5 つつじのじゅうたん一面に さばえつつじまつり

5万株のつつじが咲き誇る中、今年も3日間にわたりつつじまつりが開催されました。主会場の西山公園はお弁当を食べたり、散策したりと思思いにまつりを楽しむ人たちでいっぱい。また、今年は東山南側の通りにおもてなしロードが設けられ、その場で打ったそばなどを提供し、テント内はおいしそうにそばをすすめる来場者であふれました。北陸新幹線開通の影響もあり、ゴールデンウィーク中には満開のつつじを一目見ようと、約29万9千人が訪れました。



色とりどりのつつじが咲き誇る西山公園

## 4/29 仮装をして登山にGO! 鯖江かたかみ春田んぼ



自慢のコスプレで登山を楽しむ参加者たち

## 5/2 鯖江市役所JK課 飛躍の2年目スタート! 2期生14人がまちづくり活動に意気込み

女子高生がまちづくりに取り組む「鯖江市役所JK課」の本年度のスタートアップ会見が、この日市役所で行われました。牧野市長から委嘱された2期生メンバーは、「鯖江市のために頑張っている人たちと新しいことができたなら」「いろいろと挑戦できて面白そう」などと、意気込みを語っていました。牧野市長も「自らの発想や企画を実行し、楽しく活動してほしい」とエールを送りました。メンバーは早速、10日の鯖江つつじマラソンで、地元スポーツクラブの皆さんと給水ボランティアに参加、23日は市内でごみ拾い企画「ピカピカプラン4」を行いました。



記者会見に出席したメンバーと若新雄純さん(写真右)、牧野市長

## 5/7 県内初の受賞に喜びの報告 恩賜財団母子愛育会総裁表彰受賞

恩賜財団母子愛育会総裁表彰受賞

昭和62年に発足し、地域の母子保健、生活習慣病予防、環境衛生の総合的推進や地域の健康づくり活動を続けてきた鯖江市愛育会の皆さん。今回その長年の取り組みが評価され、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会から総裁表彰を受賞しました。この日、酒井艶子会長（糺町）と柴田宣子副会長（神明町4丁目）が市長室を訪れ牧野市長に受賞を報告。酒井会長は「長年の活動が認められて、とても嬉しい」と笑顔で報告すると、牧野市長は「今後の活動にも期待しています」と激励の言葉を送りました。



牧野市長に受賞を報告する  
酒井会長(写真中央)と柴田副会長(写真左)